

月刊 ふるさと西春近

お盆を過ぎて朝夕は秋の気配を感じるようになりましたが、日中はまだ真夏の暑さが続いています。熱中症に気をつけてお過ごしください。

春日街道をたどる研修

(万年青の会 7月19日)

春日街道は豊臣秀吉の時代に開かれ、短期間で廃道になったと伝わる古い道。宮田から西春近を縦断して小黒へ至るルートを諏訪形から上島まで辿り、途中の諏訪形、柳沢、沢渡、北丘(かんでんぱば)、村岡、上島で車から降りて説明を聞いた。参加者の中に子供の頃に歩いた経験者もいて、子供だったころのなつかしい話に花が咲いた。



流しそうめんを体験

(かるがも学級 7月20日)



夏の風物詩流しそうめんを公民館の玄関先で楽しんだ。そうめんだけでなくトマトやキュウリ、ゼリーやチーズなども流れてきて、幼児は慣れない箸づかいでずくっていた。駐車場に用意したビニールプールでは、思い切り水をはじきとばして夢中で遊ぶ姿も見られ、家庭ではなかなかできない体験に子どもたちはおおはしゃぎだった。

マレットゴルフで親睦

(父居屋の会 7月22日)

大芝高原でマレットゴルフを楽しみ、会員相互の親睦を深めた。参加者は2グループに分かれ、初心者には経験者から打つ強さや方向など助言を受け、真剣さの中にも和やかにストックを握っていた。18ホールを回ってもあっという間に時間が過ぎ、最後には「また、やりましようよ」という声も聞かれた。



てらこや塾で夏休みの学習

(公民館 7月27~29日)

毎年夏休み中の小学生を対象に開講しているてらこや塾。今年は95名の応募者の中から抽選で71名を受け入れ、夏休み初日の27日から3日間にわたって開講した。参加人数が多かったこともあり、8つの縦割り班に分かれ、高学年を中心に助け合って学習した。

午前は学校からの宿題、午後は講師を招いて図画工作や科学実験、手品教室や映画鑑賞など体験的な学習を行った。高学年はのろし体験教室も行い、庭で実際にミニのろしをあげた。

学習支援ボランティアには伊那西高校の生徒、区長、民生児童委員のみなさんをお願いし、安全面にも配慮した。

なお、24名が参加できなかった反省から、来年度は希望者全員を受け入れられるよう実施方法を再検討することになっている。



伊那祭市民踊りに西春近連308人 (8月6日)

南小4年生、北小3年生、スポーツ少年団野球部などの子どもと各区の代表合わせて308名は参加連の中で最大で、西春近の一体感を示した。



子どもたちはドラゴンは踊っても伊那節や勘太郎音頭はうまく踊れず、大人たちはドラゴン踊りの速い動きについていけず伊那粋踊りもどうも……。参加することに意義があるとはいえ、課題もありそうだ。

西春近地区成人式 盛大に開催

(8月15日)

今年も伊那市では公民館単位で成人式を行うことになり、西春近では新成人代表と区長会長はじめ各団体の代表者で実行委員会を構成してお盆の8月15日に開催し、20歳の門出を祝った。今年の新成人(平成7年度生まれ)は67名で、うち出席者は50名だった。

第1部の式典では伊那市の歌斉唱に続いて実行委員会を代表して伊藤光人区長会長が式辞を述べ、北原秀樹教育長と飯島尚幸市議会議員から祝辞、白鳥市長のビデオメッセージの披露があり、新成人を代表して酒井咲希さんと齋藤将太さんが決意表明をした。いつもあたたかく迎えてくれる西春近を引き継いでいきたい、これまで育ててくれた西春近のみなさんに恩返しをしたいという決意が熱く述べられた。

第2部の祝賀会では、小学校時代の恩師6人が担任していたときのエピソードを披露し、はなむけの辞を贈った。続いて伊藤一夫公民館運営審議会会長の発声でお茶で乾杯し、昼食をとりながら歓談。新成人は久しぶりの再会に話が弾み、仲間で写真を撮り合うなどしていた。



9月以降の公民館行事予定

- ・9月3日 のろしりレー
- ・9月25日 西春近よいとこめぐり 表木編
- ・9月26日 女性教室 「マレットゴルフ」
- ・9月28日 かるがも学級 「バス遠足」
- ・10月10日 西春近チーム 市民駅伝参加